

## 国際交流基金巡回展事業 「キャラクター大国：ニッポン」の開幕



会場入口

去る7月5日、マイアミ近郊のデイベー市にあるYoung At Art Museumにおいて表題の開幕式典が行われました。以下に当日の模様を簡単にご紹介したいと思います。

開幕に当たり、まずシュレイゴ同美術館館長から、国際交流基金と在マイアミ日本国総領事館の支援によりこの素晴らしい展示会を開催できる運びになったことに対する謝意表明がありました。続いて私から今や日本と言えばアニメやマンガが世界中の人々の頭に浮かび、そこからさらに日本について関心を深めている人も大勢いることを挙げ、今回の展示では1950年代から50年間に及ぶアニメ、キャラクターの変遷が分かるようになっていることを紹介しました。続いて50年前には実はアメリカのアニメも日本で盛んにテレビ放映されており、私自身も子供時代にこれらアメリカのアニメが大好きだったこと披露した上で、今度はアメリカで日本の初期のアニメを含めたキャラクターをてこうした形で紹介できることは自分としても大変感慨深くもありまた嬉しく思うとの趣旨をお話し、来場者各位も是非楽しんで欲しい旨ご挨拶しました。

次に同美術館職員一同から感謝を込めたアニメキャラクターのコラージュの額が私に手渡され、続いて館長と私がテープカットした後、館長の案内で私も展示を鑑賞しました。

展示会場は同美術館の最も大きなホールを利用し、国際交流基金から送付のあった各種大小のアニメの人形、パネル、ビデオ、グッズなどがカラフルに展示されていたほか、同美術館独自の子供のためのクラフトコーナーなどもあり、来場者も思い思いに楽しんでいました。

また、開幕当日は小さい子供達のために同美術館職員が映像を使って子供達と掛け合いをしながらトークを行っていましたが、そこでは展示物の紹介に加え、ピカチュウ幼稚園バス、キャラクター弁当等の写真も紹介し、周りにいた親たちも興味をそそられている様子が伺われました。

また、来場者の中には日本訪問から戻ったばかりのコスプレ姿の大学生もおり、日本での見聞を熱く語っていましたが、こうした若い人達がアニメやコスプレをきっかけに、日本人のライフスタイル、考え方、価値観などにも一層目を向けて理解を深めてもらい、日本の若い世代と自然な形で意思疎通しながら将来を一緒に担って行って欲しいとの思いを強くした次第です。

この展示会は9月7日まで開催されていますのでご関心のある方は是非ご観覧ください。詳しくは以下のアドレスまで。

[http://www.miami.us.emb-japan.go.jp/documents/kingdom\\_pr\\_en.pdf](http://www.miami.us.emb-japan.go.jp/documents/kingdom_pr_en.pdf)



シュレイゴ館長(右)とキティ